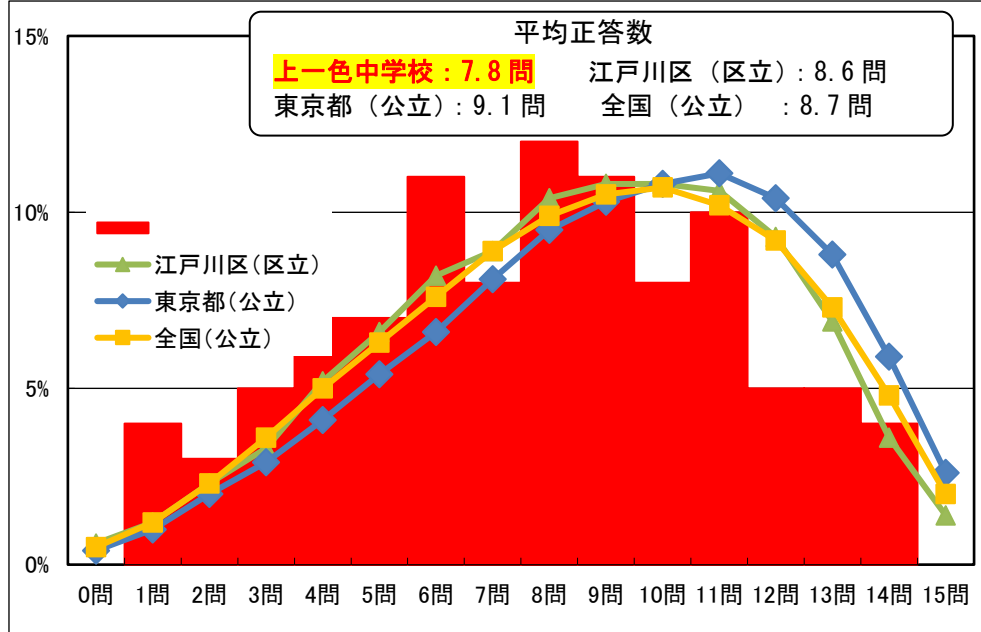
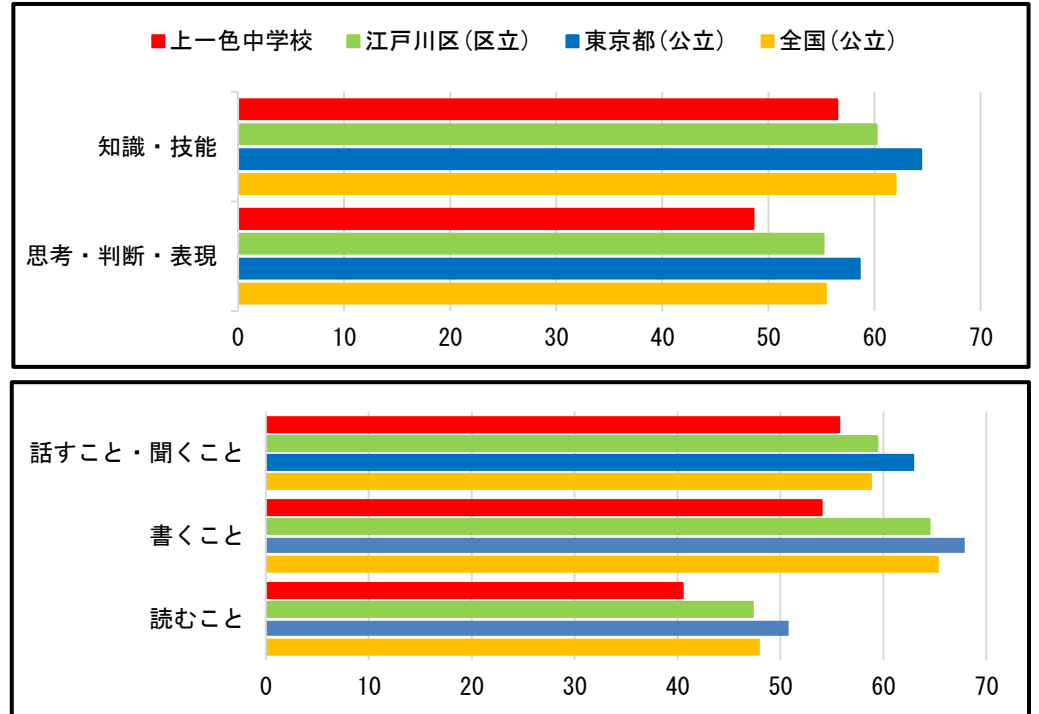


# 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 上一色中学校

## 正答数分布



## 「領域別」の結果



## <四分位における割合(都全体の四分位による)>

国語	上位 ← 下位			
	A層 12~15 問	B層 9~11 問	C層 7~8 問	D層 0~6 問
<b>上一色中学校</b>	<b>14.0</b>	<b>29.0</b>	<b>20.0</b>	<b>37.0</b>
江戸川区 (区立)	21.2	32.2	19.3	27.3
東京都 (公立)	27.7	32.2	17.6	22.5
全国 (公立)	23.3	31.4	18.8	26.5

## 【平均正答率の差】

<b>上一色中学校</b>	<b>52%</b>
江戸川区 (区立)	57%
東京都 (公立)	61%
全国 (公立)	58.1%
都との差	<b>9ポイント</b>

## 【分析結果と授業改善に向けて】

- ・平均正答数は、全国平均と0.9問の差がある。正答数分布から、5~6問正答が多く、12~13問正答が少ない。
- ・全国平均と比較してC、D層の割合が11.7%多いため、C、D層の生徒に向けたより分かりやすい解説が必要。
- ・東京都の全国平均と比べると「書くこと」で大きく下回っている。伝えたい事柄を相手に伝える文章を書くことができない生徒が多いため、自分の意見を相手に伝える話し合いの時間を設けたい。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。